

区 分	看護学専門科目 看護援助方法論	科目名	家族看護学 V (母性看護援助論)			教員名	太 田 操 菱 谷 純 子 他		
開講年次	3年次前期	必修 選択	別 必 修	授業形態	講 義 演 習	単位数	3	時間数	60時間

授業の概要

女性のライフステージにおける発達課題や健康の諸問題を通して、母性としての機能が健全に発揮できるような援助の方法を学習する。また国内及び諸外国の実状を踏まえた上で、母子保健に関連する現状を学ぶと共に今後の課題を展望する。さらにマタニティーサイクル（妊娠期・分娩期・産褥期・胎児期及び新生児期）にある対象の身体的・心理的・社会的変化の特性を理解し、援助の視点と方法について学習する。

学習目標

一般目標

- 1) 母性の概念および母性看護の意義と役割を理解する。
- 2) 女性のライフサイクルにおける特徴を理解し必要な援助を学ぶ。
- 3) マタニティーサイクルにある対象の看護を学ぶ。

行動目標

母性としての機能を発揮できるよう、対象のニーズに応じた援助の方法を考えることができる。

授業内容（学習項目）

回	項 目	内 容（キーワード等）
1	母性看護概論	母性看護の概念、意義、役割
2	〃	母性看護に活用できる理論
3	母性看護に関する形態機能	生殖器の形態・機能
4	〃	〃
5	マタニティーサイクル	妊娠期・胎児期の看護
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃	〃
9	〃	分娩期の看護
10	〃	〃
11	〃	〃
12	〃	産褥期の看護
13	〃	〃
14	〃	〃
15	〃	〃

回	項 目	内 容 (キーワード等)
16	マタニティサイクル	産褥期の看護
17	看護過程	看護過程の概念、ウェルネス看護診断の考え方
18	マタニティサイクル	新生児期の看護
19	〃	〃
20	〃	〃
21	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の異常	妊娠期の異常
22	〃	分娩期の異常
23	〃	産褥期・新生児期の異常
24	ハイリスク妊産婦の看護	ハイリスク、合併症
25	〃	正常からの逸脱予防
26	看護過程	事例展開
27	ライフサイクルにおける母性看護	女性のライフサイクルと看護
28	〃	セクシュアリティと看護
29	母性看護概論	母性看護の変遷と動向
30	〃	母性看護の対象をとりまく社会

テキスト

- 1) 森恵美他、系統看護学講座 専門24 母性看護学 1 母性看護学概論、医学書院、2010
- 2) 森恵美他、系統看護学講座 専門25 母性看護学 2 母性看護学各論、医学書院、2010

参考書

太田操編著、ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第2版、医歯薬出版、2010

成績の評価方法

試験、レポート、平常点

教員から学生へのメッセージ

知識を断片的に覚えるのではなく、それぞれを関連させて理解してほしい。